

平成26年3月27日
北海道開発局

北海道開発局コンプライアンス第三者委員会
議事概要について

(概要)

標記委員会について、以下のとおり開催されましたので、お知らせします。

(開催日時)

平成26年3月24日(月) 13時30分～15時10分

(開催場所)

札幌第1合同庁舎15階 北海道開発局特別会議室

(出席者)(敬称略)

委員長 阿座上洋吉 地域経済研究所理事長
委員 岩本 勝彦 岩本・佐藤法律事務所弁護士
谷口 勇仁 北海道大学大学院経済学研究科教授
籾本 道男 公認会計士・税理士籾本道男事務所公認会計士
藤田美津夫 藤田・荒木法律事務所弁護士
向田 直範 北海学園大学法学部教授

*欠席 林 菜つみ 林菜つみ法律事務所弁護士

北海道開発局

澤田局長、高柳次長、是川開発監理部長、川崎事業振興部長、
山口建設部長、川合港湾空港部長、仲家農業水産部長、吉野営繕部長
ほか

(議事概要)

- 事務局より、「平成25年度の内部統制及びコンプライアンスに関する取組とその評価」、「平成26年度の内部統制及びコンプライアンスに関する取組」及び「北海道開発局発注者綱紀保持規程等の改正」について説明した。

○ 委員から次のような意見があった。

- ・ 上司が問題と考えていないことが、部下は問題と考えているということがある。例えば、部下に「報告・連絡・相談」しなさいと指導するが、上司が部下から聞き出していないことが問題であることを認識すべき。このような点を管理職員に対する研修などで触れていくべきではないか。
- ・ 部下の意見をどのように改善できるのかというところがポイントであり、部下の意見を詳しく調査することにより、焦点の合った対応が執れるのではないか。
- ・ 業者との情報交換について、入札における接触と工事の施工における接触では質が異なるが、支障を生じているのは現場ではないか。現場で業者との接触が減ったことにより、情報交換がしづらくなっているのではないか。
- ・ コンプライアンスに係る職員アンケート結果を職員に見せた上で、結果について意見を聞いてみてはどうか。
- ・ クライシスマネジメントについては、不祥事の発生を防止できなかったということよりも、完全に防止できないものに関しては早期に発見し、早期に冷静な対応をすることが重要ということを強調すべきでないか。
- ・ コンプライアンスに関する取組は、全体的に良く行われていると評価できる。

○ 委員からの意見に対し、当局側から、次のとおり回答した。

- ・ 業者との情報交換については、幹部レベルでは業界と意見交換を実施しており、ある程度意思疎通は図られてきているが、現場レベルでは不足しているとの声があるので、来年度に向けて現場レベルで監督員と施工業者の意見交換を実施していきたいと考えている。

- ・ クライシスマネジメントについては、早期発見・早期対応が重要である旨の内容に修正することとしたい。
- ・ 委員からの意見については、平成25年度の実組の報告書及び平成26年度のコンプライアンス推進計画に反映していきたい。

以 上